

視聴覚教育

NO 126
発行日 61.10.7
発行 岡崎市AVL
編集
広報委員会

四小学校へも

パソコン導入

市内全中学校へは、二年前から五十台（学校規模に応じて）のパソコンが導入され、各中学校ともクラブ活動・部活動を中心にコンピュータを使った教育への実験が進められている。

本年度は、二期より小学校四校（竜美丘小・城南小・本宿小・常磐東小）にも、16ビットパソコンが各一台ずつ設置された。そのねらいは、①全校児童の実態把握と個別指導に生かす統計処理的な活用、②指導計画作成及び学校経営援助への活用、③教材提示など授業に生かすことへの工夫、④全ての教師がパソコン操作に慣れ、新しい時代での教育要請に対応できるようにする、というものである。

※市内全小中学校教師のパソコン操作に関する調査の結果

パソコン操作のできる教師

段階	小学校	中学校	合計
ソフトができる	142人	282人	424人
35人			
47人			
82人			

六十一年九月五日現在

全国自作視聴覚教材コンクール

○文部大臣賞 「鳥が自然に」

三浦重光（常南小）

○入選 「家康と一向一揆」 社会科部・視聴覚部

昭和六十一年度の全国自作視聴覚教材コンクールにおいて常磐南小学校・三浦重光教諭のビデオ作品「鳥が自然に」が文部大臣賞に決まった。また、現職教育社会科部・視聴覚部の教諭がパソコン操作に慣れ、新しい時代での教育要請に共同作品「家康と一向一揆」も入選に輝いた。表彰式は、十

二月四日、東京で行われる。

岩中二ユーメディア元年

岩津中学校

鈴木悟

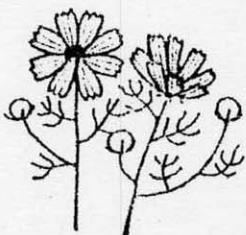
昨年度より双方向のテレビシステムを導入していただき、本年度はよく活用されている。日によっては、学年間で奪いあうという、うれしい悲鳴も聞かれる。

中学校では、学年を通して同じ教科の解説などが必要になる。テレビを使った場合の生徒の声は「学年でそろってできわりやすい。」というものが多く、意欲的な視聴ができる。ただ、教師側の工夫が足りないという面がみられ、特に図などは、テレビでわかりやすいサイズ・レイアウトを考えたい。

また、理科の授業では、窓ごとの実験の仕方をテレビカメラで撮ることにしている。これを見て全体の場で確かめ合い自分の窓の参考にするなど真剣な学習の手助けとなっている。

パソコンも、杉坂先生が開発された

「成績処理」「進路指導」のソフトがよく活用されているが、今後は授業の中で利用できるプログラム作りを考えていきたい。



〔教研集会報告〕

☆☆市橋章男（城北中）・桑木富士子（大樹寺小）☆☆

両教諭が県教研へ

視聴覚部会

去る九月十九日、甲山中学校で開催された第36次教育研究会議集会視聴覚部会は、三十名の会員が日頃の実験記録を持ちより、活発な討論が展開された。

「子どもの可能性を伸ばし、健やかな人間性を育てる教育の推進」をメインテーマに、①放送教材の効果的な活用、②児童・生徒の実態をふまえた自作ビデオ教材の活用、③見直し、生徒が主体的に取り組む校内放送活動、④個別指導に生かすパソコンの活用、等を中心に研究の成果が深められた。

県教研では、市橋章男（城北中）・桑木富士子（大樹寺小）の両教諭が選ばれ、その活躍が期待される。

16ミリ映画 B115「はじめじめての反抗」

リラ ザ ひ 任用を

本年度購入の16ミリ映画「はじめての反抗」は

幼児期の5と6才を中心とした親の子育てを取りあげた番組です。反抗のもつ深い意味を通じて、

最も大切な幼児期の自立を示唆してくれます。講

座や学級の場、また学校での幼児研究に活用を！